校友時報

第41号

発行所
秋田県立能代高等学校
新聞部　電話254番
編集人　石井惟弘
印刷人　秋津活版印刷所

三十八年度

生徒會予算決定す

総額八十七萬二千八百圓

最高は野球部（硬式）十三萬圓

今年度生徒会各部予算は予算委員一年度より生徒会費が十円値上げに、三千五百十七円多くなり、各部会提出の原案を二、三修正して六月十二日生徒総会で可決された今なった為予算総額は八十七万二千八百五十六円で昨年度より十二万ともほぼ配当額が増加している特に文化部では新聞部図書部科学部

生徒會各部予算内譯

収入の部	
総額	八七二、五六〇、〇〇
支出の部	
総額（内訳）	八七二、五六〇、〇〇
総務部	二二八、八七九、〇〇
企画	二八、六二五、〇〇
応援	
文化部	
弁論	一六、二三五、〇〇
文芸	一六、〇九〇、〇〇
科学	三〇、〇〇〇、〇〇
音楽	一四、六八五、〇〇
美術	一三、六二五、〇〇
新聞	四一、一八五、〇〇
図書	二一〇、〇〇〇、〇〇
演劇	一五、四〇〇、〇〇
運動部	
野球（硬）	二二四、五〇〇、〇〇
野球（軟）	三三、〇九〇、〇〇
庭球	三九、二四〇、〇〇
籠球	四〇、〇六〇、〇〇
排球	四六、四八〇、〇〇
卓球	三〇、〇五〇、〇〇
体操	二七、一五〇、〇〇
競技	三五、八七五、〇〇
マッキー	三五、三七二、〇〇
柔道	三六、三一五、〇〇

論說　予算決定を顧みて

今年度予算も例年の通りかなりもめ、生徒総会の変なやり、一応予算ともなれば容易でないものである。今年は生徒会費十円の値上りにより、文芸部とスキー部を除く全ての部が昨年度よりも増額した。

先ず文化部では弁論部の五千円科学部七千五百円、音楽部、美術部の夫々一千円、図書部の一万五千円、新聞部の九千円、演劇部の五千円であり、又運動部では野球部（硬）の八千円軟、庭球部の五千円、籠球部の五千円、排球部の八千円、卓球部の四千円体操部の千二百円、柔道部の一万三千円である文化部で昨年に比かくして増額した部は科学、図書、新聞であり、運動部では軟式野球部と柔道部である。科学部の七千五百円は請求額一万八千円に比べると、一応なづけるが、然し誰がみても、もこの請求額は多すぎる、少なくとも予算額の真意を知る者ならば真しなべき態度である又新聞部は一昨年全県高校のコンクールに入選しており、今年もと張り切っているが、記者派遣費だけは浮動性のある項目である。

昨年の予算と比カして割合は少ないが、一応他の部よりも金高が多い図書部は要するに全校年徒の要望するとこと対応して図書を購入すれば足りるわけだが、出来る丈全校生徒の輿論を聞く為の機会を持つ必要がある。一方運動部では今年度は新部、歴史の浅い柔道と軟野球が予想外に増額した。部が成立して僅か一年にして他部と肩を並べる迄至ったのは、一に過去の実績のたたらしたものであり、一に現部に期待するところが大きいと認められからなかも知れない。免角予想外の予算配当と言わねばならない。

以上で大まかな検討を終り、次に予算決定をみるまでの運営方法について考えてみたい。予算は会則によれば各部の部長からの請求額を企画部が各部長からの意見を聞いて検討し、この部長に生徒委員を加えて暫定的な予算委員会を形成し、こゝで論議して決ったものを総会で承認するとある。然し今年度は確か各部々長の会合の時も質問し各人が論議した様である。この会では企画部が各部に質問の程度でよい。全般的にわたって言えることは、今年度の企画部は少し計画性に欠けていた様に思われる。又もう一つ見逃せないことは決定権の問題である。予算委員会と呼ばれる会員なら全てに議決権を与えべきである。一項目を決定する毎に生徒会員だけと断ったではやり切雑に感じたことは事実である。一体各部長に議決権を与えてよんな弊害があるのだろうか。来年度はこの問題を考慮する必要がある様に思う。予算は年に一度のものであり、この決定により各部は一年の活動に大なり小なり影響を受ける。

予算の決定に当ってはその部の構造を考慮すると同時に、その部のその年の研究性を考慮する程度は考え合わせる必要がある。企画部の企画性の不足、委員会での討議問題、各部長の議決権、総会での論議、承認等いくつかの疑問と検討の余地を残したが、今年度のこれらの点を参考にし、反省してみて生徒会運動に重要な影響を持つ予算をいかにスムーズに運び、いかに合理的に決定するかが来年度に残された課題であろう。（W）

＊　＊　＊

今學期から百點法

通信簿採点法變る

今年度から成績評価は絶対評価法で表わし各科目の夫々の目標を総合評価して百点法で各家庭に通知することに変った。これは従来のように意図している。学校ではこれにより従来よりも比かく的容易に生徒の学習成績について家庭からの理解を得られる。

五段階の相対的な評価は相当の幅があり各人の成績評価はばく然と成績の順位についても同様のきらいがあったので、百点法を採用して生徒の学習成績の発達の模様を明らかにし、又知能検査の結果と学習意欲を振興させたいと希っているとのことである。

☆

校舎増築

近く着工か

計画着々進行

増築に対するPTA同窓会地元の熱望はすでに数年前からであり、PTA同窓会を中心に、各部長の並々ならぬ努力で多大の成果を見関係者一同を感激させている。

本校々舎の増築については前号で報じた通り着々計画が進み工事にとりかかる日も近いことと一同を喜ばせている。

尚工事日前に控え色々増築資金納入の都合もあり学校では父兄同窓会員一般各位の一層の御協力を切に御願いしている。

夏休みは三十五日間

今年の夏休みは七月二十日から八月二十五日までの三十五日間で学校側ではこの期間を生徒が有意義に過ごすよう希望している。

受驗懇談會を開催

在京能代學生会で計画

在京能代学生会幹事会は毎月六月中旬に行われたが、この日の席上で夏休み中に能代公民館において受験懇談会を開催することを申し合わせた同会のこの申し合わせは在京の大学だけに限らず、広く全国の大学を紹介する目的で在京能代学生会を中心として、地方の各大学に働きかけ八月八日の二日間にわたって開催するもので、現在着々その準備をすゝめている。

八日は午後七時から父兄を招き、主に経済的な面を中心に親しく今年度生徒会予算は三割増額となり、一応予算委員会で暫定的な予算を決定した。各部は各部の比があまりにかけはなれているから全面的に再検討すべしとの声もあったが入れられず、最後の多数決で予算委員会案は可決されたようである。

進適檢査日決る

十一月十日全國一齊に施行

本年度大学入試の第一関門たる進学適性検査は十一月十日に施行されることに決定した。尚これに基づく受験願書の受付は九月五日から二十日までとなっている。

第二回生徒委員会

第二回生徒委員会は去る六月二十二日放課後十五番教室において行われた。議題は大高応援部長の辞退問題と知縄校舎復興援助について、校舎復活について、予算書の結果大高応援部長の後任には三年生の四件で討議の結果大高応援部長の後任には三年生の渡辺を推薦し決定、又知縄校舎復興援助については一人一口十円以上を、学期中に納付することに決定し、他は次回に保留することゝし、同日午後五時半散会した。

各部顧問決る

企画部　小山、佐々木（正）
会計部　熊谷
厚生部　相沢
風紀部　山崎
応援部　船山
文化部
弁論部　鈴木、佐々木（辰）
文芸部　山田、柳谷
科学部　高橋
新聞部　島津
図書部　佐々木（辰）
演劇部　大木
美術部　上野
運動部
野球（硬）　小笠原、本庄
〃（軟）　佐藤、吉武
庭球部　塚本、河村
排球部　大原、武田
籠球部　鍵部、山王丸
卓球部　大沼
体操部　中村、伊勢
競技部　大山、渡辺
スキー部　熊谷
柔道部　柴田、船山

編集餘談

◆あさってからいよいよ夏休みに入る。この休みはだれでも待ちかねていた期間であり、だれしもが一応計画らしきものを樹てる◆この計画が作るは易く行いは難い。自分の力ではよう展計画し得ないと云う方が多いである。

◆今年度大に入って今帰省していった先輩の話によると、部会の学生に比べて田舎の学生はのんびりしているそうである。電車の中でも特っているそうでも必ず何か本を見ているそうである。部会でどうしてがんばらなければならないと云われた。部会の学生を目標にしろとも云われた。現在の我々にとっては一言句も苦言である。決して死にはしないから死ぬまでがんばれという名言もあった。いずれにせよいろいろな苦痛から少しでもがんばっていく安易な考え方はおさらばしたい。又大切なことはマラソンと同じく自己のペースを乱さないことだ。他人はどうあろうと自分の為に丁度ラストの町間の下での最後の発足の一歩なくては最後の発足は踏み得ない。◆それに続いて夏休みが来て、明日ではおそすぎるのである。

香り高き智性の
向上は讀書から
皆様に贈る良書を沢山揃えてお待ちしております。
皆様の
駅前
東山堂書店

各種
參考書
書籍
多數入荷
おなじみの
畠町 TEL 50
一長堂書店

學生の店
★各種製品★
豊富取揃
文房具は安部——
——に限る！
良品のサービス
安部商店
のしろ TEL 53

夏の保健のため
☆ビタミン綜合剤☆
エスタロン
錠、注、エレキサー
横町十字街
大越薬局